

ホワイエ *Foyer* イエ

New Union of Architects & Engineers

Tokyo 616

2023 8



03	数寄屋建築の心眼-2	丸谷博男
06	「那須まちづくり広場」を視察	五十嵐一博
10	住まいとまちづくりコープ設立 30 周年レポート	山下千佳
11	地球温暖化を考える 第 37 回	渡辺政利
13	関東大震災 100 年記念連続学習会	ご案内
14	アジアニュース-8 ハノイ市 (4) もろもろ事情	T N

今月の表紙 写真：川田綾子

真鶴町 貴船祭り (きぶねまつり)
日本三大船祭りの1つで重要無形民俗文化財等に指定されています。今年は7/28・29に開催、6年ぶりの小早船(こばやぶね)の水受けは美しくたくましい姿でした。漁師や石職人、各保存会、移住組等が準備から協働し、新たな形での伝統行事が実現したように思います。

Event Information

◎は新建主催行事 ◆は会員及び交流団体の行事

東京支部

- ◎8/8 火 18:30～ 第7回支部幹事会+暑気払い @新建事務所
- ◎8/9 水 15:00～ 高橋偉之さん偲ぶ会打合せ @自由学園明日館
- ◎9/3 日 10:00～「関東大震災遺構&江東区散歩」東京支部主催
- ◎9/12 火 18:30～「関東大震災 100 年記念連続学習会」@全労連会館 2 階 新建東京支部共催
- ◎9/14 木 第8回支部幹事会

全国

- ◎8/26 土-27 日 「建築とまちづくりセミナー-in 能登千里浜 2023」主催:中部ブロック
- ◎8/29 火 オンライン講座・新建ゼミ 藤本昌也氏とクロストーク 第3回「これからの暮らしのしくみ」
- ◎9/9 土 全国幹事会
- ◎9/24 日 16:00～第9回子ども環境研究会(オンライン)
- ◎10/14 土-15 日 「建築とまちづくりセミナー-in 彦根」全国主催 担当:西日本ブロック

会員及び交流団体

- ◆8/3 木 18:30～ 一木会「コモンズと隣りあう暮らし」ゲスト 沼野井 諭 氏 @としまち研
- ◆「リノベーション古民家夏休み特別宿泊体験」in 町田市野津田町浮輪寮
8/10,11,13,14,16,17,20 お問い合わせ 丸谷博男 h.maruya@a-anda.net
- ◆8/17 木 「春夏秋冬のある暮らし」空気を暖めない熱エネルギー —放射熱 講師：金田正夫
- ◆9/2 木 13:30～東日本大震災 12 年のついで 漂流する「創造的復興」の現在地 講演：津久井進氏
主催 東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター @仙台弁護士会館+ZOOM
- ◆9/14 木 18:30～ 一木会「自然災害に備えて 住まいづくりの勘どころ」ゲスト 加部千賀子氏他@としまち研
セミナー申込：mukuri_d@yahoo.co.jp



各地でのイベントや行事情報、ホワイエの原稿も随時募集しています。

下記アドレスまで原稿をお寄せください！ foyer@shinken-tokyo.orgp.emai.ne.jp

丸谷博男流「数寄屋建築の心眼」

第2回(最終回)

その2 数寄屋造は建物の内と外との境がない

■内側と外側間のデザインその4 土庇



日本の気候風土の特色には、四季折々に日射量と気温、季節風との付き合い方があります。その中でも、周辺環境との一体的な暮らしのあり方が特徴的です。それぞれの季節によって、あるいは日差しがあるかどうかによって、涼しい陰を居場所にしたり、「日向ぼっこ」するように真冬であっても日のあたる縁側に佇んだりする習慣がありました。土庇は、暑い真夏に室内を涼しくする効果があります。床が土のままなので、気化熱作用によって周辺の温度を下げるすることができます。照り返しも和らげることができます。そして外の風をそのまま受け入れることもできます。半開放の土間と理解することができるのです。

さらに6月の梅雨時にも、この場所は有効です。子供達への遊び場所を提供することもできるのです。降り注ぐ雨を見ながら、この「縁側」で楽しめるのです。水たまりの波紋も子供達にとっては驚きと芸術の世界です。

日差しがさらに強い場合には、簾が役立ちます。これによって、さらに室内は涼しくなっていくのです。室内を暗くすることが涼しさを生み出すという温熱原理は昔から人々の理解に深く刻まれてきたのです。夕方お庭に水を打つこともその一環でもありました。これも気化熱作用によるものです。



■内側と外側間のデザインその4 仮設の魅力 簾

住まいは建築や建具だけではなく、仮設的な道具も活躍します。それがまた、季節季節の風物詩でもあります。簾はその代表的な物です。もっと小さなもので言えば、団扇・蚊取り線香入れ、釣忍、金魚鉢、浴衣などがありますね。京都の町屋の夏景色では、簾が一番特徴的です。見るからに涼しそうです。

さて、その簾ですが、最も涼しそうなのは川や沼地に生えている「葦(ヨシ)」から作るものです。葦は茅葺き屋根の材料で使われています。いわゆるストロー状のものなので、熱容量がなく軽く、そこそこ丈夫なために簾の材料としては好適です。葦以外には竹を使ったヒゴ、平竹があり、杉桧から作る経木もあります。竹の場合には節を上手に使用して模様を表現することもされてきました。草系では、蒲芯、アケビなども使われます。また、簾に仕上げるためには縦糸で編み込むので、その縦糸がまた意匠的に表現され、さらに花を添えています。

■内側と外側間のデザインその5 濡れ縁



最も印象に深い濡れ縁は桂離宮古書院の「月見台」であることは誰しもが認めることだと思います。これほど自然を謳歌できる室礼はないと思います。しかし、冬は寒いし、夏の昼は暑いし、使えるのは夏の夜です。でも、蚊に刺される覚悟は必要です。やはり、月見という特別の日でないとなかなか使えないということになります。それよりは、建物と庭との間に存在する室礼とその雰囲気。そこに大きな価値が存在するように思います。桂離宮の場合には丸竹の簀張りです。これも贅沢です。客が訪れる度に張り直す必要を感じます。現代では、水に強い栗を使い、仕上げはナグリで行うというようなことになります。





■地窓、高窓、天窗の室礼(シツライ) → 釣灯笼、石組

建築空間、特に室内では視線の位置がとても重要な要素となります。人間の目の高さはその時の行為によって異なります。立居の時、座居の時、現在では床座居と椅子座居の違いがあります。それぞれの視線の位置を考えて室礼、庭のデザイン・配置、置灯笼や釣灯笼、樹木の配置と高さがデザインされていきます。そしてそれらは静的ではなく動的な対応も必要となります。特に砂質の室礼では、地窓が効果的となります。坪庭が活かされているのもこうした豊富な視線の移り変わりによく対応できるからなのです。



■数寄屋建築に影響を受けた世界の建築家

- ・フランク・ロイド・ライト
- ・アントニン・レイモンド
- ・アルバー・アアルト
- ・ミース・ファンデル・ローエ
- ・ロスの日本ハウス
- ・ブルーノ・タウト

終

「那須まちづくり広場」を視察

2023年6月4日(日曜日)。早朝から神田駅近くの銀行前に集合し、都市住宅とまちづくり研究会(以下、「としまち研」という。)主催で、「那須まちづくり広場」視察ツアーを行いました。

「那須まちづくり広場」は、廃校になった朝日小学校と校庭を活用し、校舎1階はカフェやマルシェ・交流ホール・福祉施設、2階はゲストハウスやセーフティネット住宅など多種多様な機能をもつ施設にコンバージョン。隣接するプールは介護のサ高住、校庭には自立のサ高住や隣接地には終末期ケア施設があります。

としまち研では、毎月第一木曜日に様々なジャンルの講師をお招きして「一木会」を開催していますが、2023年2月2日(木)の第327回一木会の講師として、株式会社VANSの木村よしひろさんに「那須まちづくり広場」のお話をさせていただいたところ、一木会参加者のみなさまから、是非、現地視察に行きたいとの声が多く出て、この度のイベントとなりました。

梅雨の始まりの時期であり、天候を心配しておりましたが、参加者のみなさまの日頃の行いがよいのか、好天に恵まれました。交通渋滞もなく、車内では目的地までの間にとしまち研恒例の「一分間スピーチ」での自己紹介。研究者から学生まで幅広いメンバーでの視察がスタートしました。東北自動車道を、途中で休憩を挟みつつ約3時間、最初の目的地である「那須まちづくり広場」に到着です。



お馴染み、黄色い「はとバス」



みとりえ玄関にて集合写真

日頃から「那須まちづくり広場」に出入している、那須まちづくり広場のボランティアスタッフである新建群馬支部の新井隆夫さんの案内で、まず、敷地の東南端にあるナースと暮らすシェアハウス「みとりえ那須」に行き、そこで座学と施設見学を行いました。

運営スタッフには家族を病院で亡くされた方もおり、「病気を抱えた方でも、最後の最後まで自然体で暮らせる場所をつくりたい」という思いで施設をつくられました。在宅看護やグループホームでは難しい吸引や点滴にも対応可能で、終末期でも充実した毎日を楽しく過ごせるように介護士がサポートを行います。お風呂はなんと木製で、利用者の方もお風呂を大変楽しみにされているようです。また、建物には東日本大震災の復興支援住宅で使用したログハウスの材料を再利用しており、各所に木を現した暖かな空間になっていました。見学後は施設内の食堂でおいしいカレーを頂きました。



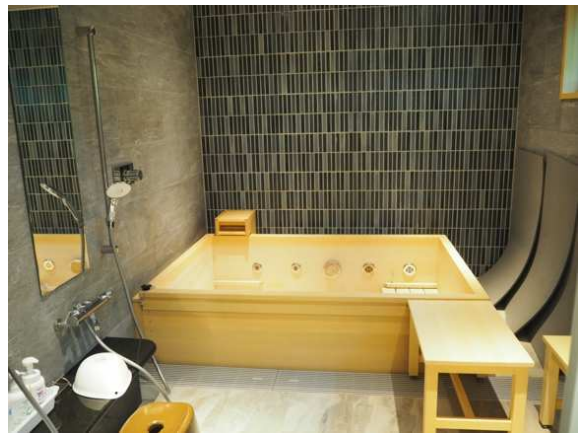
座学の様子



昼食の様子



再利用されたログ材



木製の浴槽

昼食後は、廃校になった小学校をコンバージョンした「文化交流館」に移動しました。

RC 構造躯体を現して高い天井高さを実現し、壁や開口部の断熱性能を上げることで寒さ対策が重要な那須地域での快適な室内環境を確保しています。ギャラリー、店舗、交流ホール、マルシェ、食堂に加え、デイサービスや放課後デイサービスなどの福祉施設、さらに賃貸住宅やゲストハウスも併用しています。



「那須まちづくり広場のコミュニティづくりのこれまでとこれから」と題して、株式会社まちづくり広場 取締役 鍋木孝昭さんのお話を伺いました。

那須まちづくり広場の運営母体である一般社団法人コミュニティネットワーク協会では、女性や高齢者が豊かに暮らせる住まいづくりを30年以上に渡って取り組み、「より良い住まいづくり」＝「より良い地域づくり」を目指し 10 を超える自治体の地方創生を支援。那須町や地域住民の方々の参加型で運営し、暮らしに必要なもので地域にないものはつくり、実践を記録・公開し、他地域でも活用できるモデルを目指しています。バスツアー参加者からは多くの質問がでて、充実した質疑応答となりました。



構造を現した開放的な空間



鍋木さんの講義・質疑応答



小学校の校庭に建築された、サービス付き高齢者住宅

那須まちづくり広場視察後、近隣の「ゆいま〜る那須」に向かいました。「ゆいま〜る那須」は、一般社団法人コミュニティネットワーク協会が 2010 年に開設。豊かな自然環境、緩やかな斜面地に中庭を囲う様に木造平家（一部2階）を配置した、サービス付き高齢者住宅です。入居者の主体的な活動が特徴で、中庭の手入れをしたり、自由室・音楽室をみなさんでイベントや教室に利用されていました。



隣接する牧場で、ソフトクリーム



ゆいま〜る那須

中庭を囲む木造平家



自然を眺められる、開放的な食堂

全ての視察が終わり、帰路につき、途中のサービスエリアで、お土産を購入しつつ、渋滞に巻き込まれながらも無事神田駅近くの出発点に到着。コロナ禍もあり久しぶりに大人数でのバスツアーで不安もありましたが、施設の方々や参加者のみなさまのご協力もあり大変有意義な1日となりました。今後もしまち研では色々な視察ツアーを検討していきますので、是非ご興味のあるかたはご参加ください。

新建築家技術者集団 東京支部
都市住宅とまちづくり研究会 理事
五十嵐一博

住まいとまちづくりコープ設立 30周年 人も建物も豊かで長生き

7月8日（土）板橋区立グリーンホール2階で13時30分～16時30分+17時～19時に開催しました。81名の方にご参加いただきました。

記念講演は高本直司さんに「快適に暮らすとは器としての住まいに求めること」脱炭素に向けた省エネと快適を両立する住まいづくりの事例を話してもらいました。事例1は「密集地の課題を解決し豊かに暮らすための断熱」、事例2は「愛着のある築50年の木造住宅にこれからも住みつづけるための断熱」、既存住宅の耐震補強と断熱レベル気密性能を上げた例、事例3は「築35年のRC造マンション専有部に快適に暮らすための断熱」ルーフバルコニーのスラブ下にきちんと断熱材を入れることをはじめとして樹脂の内窓との組み合わせで温熱環境の性能向上を目指したものでした。

千代崎さんは「マンションサポートこれまでの歩み」地元の板橋区内で長く顧問やコンサルタント業務をしているマンションの紹介をしました。最後に「未来へつなぐ」として、マンションをサポートする専門家の必要性が益々増えているなかで、その力を発展させるために集団の力、設計協同フォーラム、新建マンションサポート研究会やマンション管理士のグループなどと協業が大切です。また、技術や業務を継承するためにも、インターンのような形で学んで仕事をはじめたいという方とも協力し合いたいと思っています。仕事で取り組む人が増えれば質も高まるという話をしました。1部の最後に住民参画の業務や活動、被災地支援などの様子をスライドで紹介しました。

参加者のみなさんからのコーナーでは、管理組合の役員の方、管理会社やサッシメーカーの方、環境や音楽を通じた活動をしている方、新建からは京都支部の久守一敏さん、群馬支部の新井隆夫さん、神奈川支部の酒井行夫さん、東京支部の小林清泰さん、丸谷博男さんにお祝いの言葉をいただきました。2部の乾杯と最後の締めは柳澤泰博さんでした。宇賀さん、江国さん、木村さん、佐藤（末）さん、杉山さん、大力さん、高本（明）さん、中島さんが東京支部から参加してくださいました。

「未来を創るのは私たちー音楽と交流のつどい」では、わりかん歌う会のメンバーとして、村上久美子さんと畠中博資さん他のみなさんに歌を披露してもらいました。私とフルーツ仲間、大阪支部の山口達也さんはギターとベースギター、千代崎さんはジョンレノンと同じエレキギターで、楽しく演奏をしました。

月日が経つのは早く、5年ごとに周年行事をするのはエネルギーがいりますが、コロナ禍を経験した5年間で新しい方との出会い、30年継続してきた重みなどを振り返り、「大切にしてきたこと」と「これからも大事にしたいこと」に気づき、エネルギーが充電される機会になりました。



ビスケット

松本克巳さん（ヴァイオリン）
森崎由紀子さん（ピアノ）

異常気象

国連の気象問題に関する専門機関・世界気象機関「WMO」が(2023年)7月7日、世界平均気温が史上最高の 17.24℃に達したと発表しました。過去最高だったのは 2016 年 8 月 16 日の 16.94℃で、今回はこれを超えたものです。さらに、今年の 6 月平均気温と 7 月第 1 週の世界平均気温も史上最高を記録したと発表したことも伝えられています。

7 月 28 日の東京新聞夕刊は、EU の気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス」と WMO が 7 月の世界平均気温が 2019 年 7 月の 16.63℃を超えて観測史上最高を記録する見込みと発表したことを受けて、国連のグテレス事務総長が記者会見で「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来」と警告、「まだ最悪の事態は防げる」とも述べて、各国の指導者に気候変動対策の強化を求めたと伝えています。そのうえで、「異常気象がニューノーマル(新常态)になりつつある」「これは人類の責任だ」と述べたとも記事にはあります。

このような世界的高温を物語る情報は続いています。欧州では、高温傾向が欧州全体に広がっています。イタリアでは連日最高気温が 40℃を超え、ローマでは 7 月 18 日に 41.8℃を記録、2007 年に観測した 40.5℃を超えて過去最高記録。サルディニア島では 45℃に到達。スペイン北東部カタルーニア州・フィグレスでは 45.2℃を記録し、同地での過去最高温を記録しました。イタリア以外でもスペイン、ギリシャなどでも最高温記録が観測されています。欧州連合(EU)はイタリアの大半とスペイン北東部、クロアチア、ボスニア、ヘルツェゴビナ南部、モンテネグロに 7 月 18 日、異常高温警報を出したとされます。

こうした高温傾向は欧州では数年続いています。が、昨年の 5 月から 9 月の間に 6 万人以上が死亡したとも言われています。比較的冷涼な欧州では家庭に冷房設備を備えている人は少なく、フランスでは冷房機設置率 5%未滿、ドイツでは 2%未滿とも言われ、冷房設備が普及していないことが死者増加に拍車をかけたと言われます。

こうした異常気象で、イタリア北東部・ヴェネト州トレヴィーゾでは 7 月 20 日に直径 15 cm の雹(ひょう)が降り、ミラノでは 7 月 21 日に竜巻が発生、ミラノの東では直径 10 センチを超える雹が降ったとの報道があります。(写真)



トレヴィーゾで降った雹

欧州の高温傾向は夏に限らず今年の元日(1月1日)には欧州各地で異常高温となり、リヒテンシュタインでは平年 1 月の平均気温が 5℃のところ 20℃、チェコでは同 3℃のところ 19.6℃、ポーランドでは同 1℃のところ 19℃など、オランダ、ベラルーシ、リトアニアなど広い地域で平均気温を 15℃以上も上回りました。ワシントンポストによれば 12 月 31 日からの 3 日間に、ヨーロッパ全土で数千の高温記録が塗り替えられたといえます。(NHK気象アンカー森さやか氏)

アメリカでは、西部アリゾナ州で華氏 110 度(43.3℃)を超えた日が連続 19 日間続き、1974 年の連続 18 日間を超えて新しい記録となったことが報じられています。アメリカ西部から南部にかけての広い地域で 6 月下旬以降、「ヒート・ドーム」と呼ばれる熱が同じ所に留まり続ける現象が発生して高温域が継続発生したと言われます。

中国北西部・新疆ウイグル自治区トルファンでは、7 月 16 日に 52.2℃を記録、気象当局によると 7 月中旬としては国内最高記録で、地表温度は 80℃に達したと言われます。北京でも 6 月下旬に 3 日間連続で 40℃を超え、中国メディ

アによれば北京で 1951 年～2022 年の 72 年間に 40℃超えの気温は合計 6 日間だけであったものが、今年はこの 3 日間を含めすでに 4 日になったとされます。

このような高温傾向により乾燥地域が広がり、世界各地で火災地域が広がっています。報道ではギリシャではアテネ近郊の山火事が住宅地に迫るニュース、スイス南部でも山火事が発生、カナダでは全国で 900 件以上の森林火災が発生し、その内の 6 割は制御不能として消防当局も放置を余儀なくされ、降雨を待つ状態と言われます。アメリカのニューヨークではこれらカナダ森林火災による煙が湖（オンタリオ湖）越えて流れこみ、街全体が、視界不良のうえ黄色く見えるなど都市の日常活動に一定の支障が出ているという報道も見かけました。

日本でも 7 月には暑い日が続きます。東北地方南部から近畿付近にかけて気温が上がり、7 月 7 日に新潟県秋葉区で今夏最高気温 37℃（気象庁）が記録されたのもつかの間、7 月 12 日には八王子市で 39.1℃を記録、今年初めて 39℃を超えたとなっています。この日は気象庁の観測点がある 1 都 6 県の 77 カ所（島嶼部除く）の内 54%の 42 カ所で 35℃以上の猛暑日となりました。ところがさらに、7 月 16 日には群馬県桐生市で 39.7℃を記録、気温は日を継いでうなぎ登りとなりました。この日東京都心部では 35.3℃を記録、この 1 週間で 3 回目の猛暑日となりました。（7/17 東京新聞）

7 月 26 日には埼玉県鳩山町でも 39.7℃を記録、首都圏各地では 35℃以上の猛暑日が記録的長さで続いています。東京では 7 月 29 日現在、猛暑日は連続 11 日間ですが、今後もしばらく続きそうです。昨年は猛暑日が 1 年間で 16 日間だったそうで、このことを考えると今年の連続高温記録が際立っていることが分かります。

さらに、7 月 27 日には大阪府枚方市で 39.8℃を記録したようで、今年の最高記録は上がり続けています。

因みに日本の最高温記録は 41.1℃で、2018 年 1 月 23 日埼玉県熊谷市で、2020 年 8 月 17 日静岡県浜松市で記録しています。

激しい降雨

また世界各地に高温がもたらされているだけではありません。高温は激しい乾燥を伴いますが反面、各地に激しい降雨・豪雨も記録され

ています。

上記したアメリカ東部ではバーモント州で 7 月 9・10 日の両日だけで 2 ヶ月分に相当する降雨を記録、ニューヨーク、ペンシルベニア両州で洪水による死者が発生しています。ネット上の「テレ朝」情報では 7 月 9 日、アメリカ北東部の洪水に関して、ニューヨーク州で 100 mm/h という途方もない豪雨が降ったとあります。

このほかにもネット上にはカナダやインドで大雨が降り、カナダ東部で豪雨の後洪水が発生、子ども 2 人を含む 4 人行方不明、インドでは地滑りで多数の家屋が倒壊したほか 22 人が死亡、100 人以上が行方不明などのニュースが見られます。

昨年の 8 月、パキスタンでは極めつきの大洪水が発生し、全土の 3 分の 1 が冠水・水没、各地で道路や橋、家屋、農作物を押し流した大災害は記憶に新しいところです。この水害ではモンスーンに入った 6 月から 8 月にかけて 1100 人以上の死者が発生。国民の 7 人にひとりに当たる 3300 万人が被害を受け、特産の綿花のほぼ半分が流され、野菜や果物畑、水田など大きな被害をうけました。

日本では 6 月末から 7 月初めに掛けてはいわゆる「梅雨末期」に当たりますが、今年の降雨は例年にもまして異常な状況になりました。前線が韓半島から日本海を跨いで北陸、東北、北海道に掛かって停滞し、秋田県を中心に大雨と大災害をもたらしました。この直前には梅雨前線は北九州から関東地方に掛けて停滞し、鹿児島、熊本、大分の各県では記録的豪雨となり大規模な水害発生により、9 人の尊い命が失われました。この豪雨では雨雲が連続して連なり長時間にわたって大規模降雨が続く「線状降水帯」が間断なく発生して、これらの災害をもたらしました。

韓国ではこの梅雨前線の停滞により大規模な水害が発生しました。7 月 9 日から続く大雨で韓国中部、南部中心に大雨被害が発生。7 月 17 日午後 6 時時点で死者 40 人、行方不明者 9 人が発生、全国で 2 万 5000 ha もの農地が冠水、鶏など 57 万もの家畜被害が出ていると報道されています。（東京新聞、しんぶん赤旗）

関東地方では例年の梅雨末期と比較して降雨量はそれほど多くはなかった実感ですが、その反面、異常な高温と高湿による極めつき不快な日々が続きました。

エルニーニョ現象の発生

こうした異常気象発生のなか7月4日、WMOは「エルニーニョ現象が発生した」と発表しています。エルニーニョ現象は、赤道付近、太平洋東側寄りの表面温度が平年より帯状に高くなる現象で、その長さは南米ペルー沖からインドネシア近海に至ることがあるようです。エルニーニョ現象と反対に表面温度が低下するラニーニャ現象と交互に現れ、それぞれ数年おきに発生するとされています。

エルニーニョ現象は発生するとその状態が1年以上続き世界の気温上昇を進めるとされます。世界平均気温が最高を記録した背景にエルニーニョ現象の影響があるのかは今のところ分かりませんが、今後エルニーニョ現象の影響も受けて、地球温暖化はさらに確実に進行していくものと思われます。

G20 エネルギー相会合意見まとまらず

7月22日、インド南部のゴア州で開かれたG20＝主要20カ国エネルギー相会合が開かれました。日本からは西村経済産業大臣が参加しました。

会議ではエネルギー安全保障や脱炭素の取り組みについて意見が交わされたとのことですが、化石燃料からの脱却や再生可能エネルギー

導入拡大を求めた欧米各国と、火力発電に大きく依存する途上国との間で意見の隔たりがあったとされます。議長国インドは合意した内容を成果文書として公表しました。その内容は「各国の事情に配慮し多様な道筋を通じて脱炭素を進めるべき」だとして各国が一致したことを明らかにしました。また、脱炭素に向けた次世代の燃料として水素の活用についても合意したとされます。

議長国インドのシン電力相は記者会見で「化石燃料を廃止する上でも二酸化炭素の回収や貯蔵を選ぶ国があった」と語ったとされます。日本を暗に批判したのです。

NHK7月23日のニュースの報道によれば、日本はこの会議でCO₂排出の少ない火力発電を宣伝、後進の低開発国に火力発電売り出しに精を出したようです。

岸田内閣は国内でも二酸化炭素の回収や貯蔵を強調して火力発電をさらに拡大する方針です。二酸化炭素の回収・貯蔵などと主張しても技術は未完成の上、火力発電からは二酸化炭素放出は避けられません。大手電力業界の当面する目先の利益だけを代表して、地球温暖化をさらに進める政策を諦めないばかりか、国際的にも拡大しようと画策して、多くの国々にもあきれられたと言うべきでしょう。

(つづく)

・・・ご案内・・・

自然現象を「災害」にさせない

関東大震災100年記念連続学習会

今年には10万人を超える犠牲者を出した未曾有の大災害・関東大震災から100周年の年です。そしていま、首都直下地震、南海トラフ地震の切迫が指摘されています。しかし、石原都政以来の都政は、革新都政が築きあげた予防原則に立脚した防災のとりくみをなおざりにして、東京への過度の集中と超高層ビルによる開発をすすめ、東京の脆弱性を加速させています。

今回は、元東京大学地震研究所所長の平田直名誉教授をお迎えして、首都直下地震への備え、災害に強い東京の実現について考えてみたいと思います



関東大震災で焼け出された人々



関東大震災100年 首都直下地震に備える

講師 **平田直** (東京大学名誉教授)

日時: 9月12日(火) 18:30 開会

会場: 全労連会館2階ホール

参加費: 500円 ※ 申し込み不要

ONLINE は表記のアドレスかQRコードから「申込フォーム」に入り、手続きをお願いします。

<https://forms.gle/TrM84TjRm9bfeUGX8>



最寄り駅: JR・地下鉄お茶の水駅徒歩8分



主催

東京災対連・革新都政をつくる会・防災首都圏懇談会・新建築家技術者集団東京支部

(連絡先) 東京災対連

〒170-0006 豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館5階 東京地方労働組合評議会内
tel 03-5395-3171 fax 03-5395-3240

<後援 東京民報社>

ハノイ市(4)もろもろ事情

7月27日現在、4年ぶりのハノイです。短期間ですが、滞在中です。東京も暑かったですが、こちらも「ひところの猛暑は過ぎ去った」(現地の方)ようですが、とにかくまだまだ真夏です。見聞きしたことを少し記載しておきます。

旅先なもんで、食を中心にお伝えしたいと思います。

アジアニュースNo.8
(ベトナム中心) TN



量入れながらいただきます。炭火焼でしたね。



朝早くの路上は、それぞれのいつもの持ち場で、八百屋、魚屋、肉屋、果物屋と店が開かれ、お母ちゃんたちでにぎわっています。

泊まったホテルは、旧市街に近い、ホアンキエム湖直近でした。

朝からこの湖の周りは、体操の人たち、散歩、自転車の思いおもいでにぎわっています。

自然と時計と反対周りに向かってぐるぐると回っています。

これはホテルでの朝食です。いろいろなものが豊かに取り揃えてあります。

4年ぶりに再会した、ベトナム人の友人に昼食をごちそうになりました。ブンチャーです。つけ麺といった方が良いでしょう。野菜や、揚げ春巻き・豚肉の焼いたものなどを適

夕食も少し紹介。左は、台風のベトナム料理で、3人で4人前を頼んだため、だいぶ残りました。右は、ベトナム料理。上品な店で、上品な味で、分量もちょうどよかったです。



ここからは、観光案内。
左は、ホーチミン廟。改修中なので、中には入れませんでした。

右は、ホアンキエム湖。この1周は、だいぶありますが、皆さん散歩していました。

左は、世界遺産登録された、タンロン遺跡です。まだまだ発掘中なので、これから何が出てくるか楽しみです。

右は、ドンスワン市場です。クーラーがない中で、扇風機に当たりながら、小売りや卸売りもやっていました。洋服や雑貨など所狭しと並んでいました。

左は、はんこ屋さん。絵柄はすでに彫ってあって、蓮の花やらアオザイ姿など好きなものを選ぶとその場で、名前を入れてくれます。漢字でも、英字でもひらがなでも彫ってくれます。

右は、工事現場。コンクリートと煉瓦の積み上げです。

社会 ハノイ:郊外への引っ越し増加、賃貸マンション家賃値上げで 2023/06/28 05:49 JST 配信

不動産取引プラットフォームの「ワンハウジング(OneHousing)」によると、6月下旬のハノイ市の賃貸マンションの平均家賃は月1000万VND(約6万0600円)近くで、前年同期に比べ+4.5%上昇している。より安い住宅を求めて、郊外に引っ越しする家族が多い。

タインスアン区在住のブーさんの家族は、レバナルオン通りの2寝室の賃貸マンションから引っ越したばかりだ。オーナーから1100万VND(約6万6700円)の家賃を1300万VND(約7万8800円)に値上げすると言われたため、中心部から遠くなるが1000万VND(約6万0600円)未満のマンションに引っ越した。



チャンさんの家族も、オーナーから750万VND(約4万5500円)の家賃を1000万VND(約6万0600円)に値上げすると通告を受けて、6年余り暮らしたカウザイ区ナムチュンイエン通りのマンションから引っ越した。移転先はホアイドゥック郡で家賃は700万VND(約4万2400円)。チャンさんは、通勤には遠くなったが、経済的に圧迫されずに済むと話した。



カウザイ区在住のトゥーさんの家族は、5月から200万VND(約1万2100円)値上げし家賃を1400万VND(約8万4800円)にするとの通告に対し、上げ幅を150万VND(約9090円)に抑えるようオーナーを説得した。トゥーさんは「相場はこんなもの」とあきらめ顔で話した。

住む人・使う人の立場で、
住まいづくり、まちづくりを
すすめています。



共同建替え「アリア鳩ヶ谷」

〒124-0001
東京都葛飾区小菅4-22-15
TEL : 03-3601-6841
FAX : 03-3601-6944
E-mail : zo-3@jade.dti.ne.jp
http://www.zo-3.info

株式会社 **象地域設計**

新建築家技術者集団 憲章

建築とまちづくりにたずさわる私たちは、国土を荒廃から守り、かつ環境破壊を許さず、人びとのねがう豊かな生活環境と高い文化を創造する目的をもつ。

私たちはこのことを認識し、行動するための目標をかかげ、ここに憲章を定める。

- 1 建築とまちづくりを、社会とのつながりの中でとらえよう。
- 2 地域に根ざした建築とまちづくりを、住む人使う人と協同してすすめよう。
- 3 建築とまちづくりの優れた伝統を継承し、理論や技術の発展と創造につとめよう。
- 4 人びとに支持される建築とまちづくりの活動をすすめ、専門性を確立しよう。
- 5 建築とまちづくりに関連する国内外の広い分野の人びととの交流をはかり、連帯を強めよう。
- 6 建築とまちづくり、生活と文化、自由のために平和を守ろう。

住み続けられる



株式会社
まちづくり研究所

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 第二伊藤ビル 503
TEL : 03-5423-3470 FAX : 03-5423-3479

住む人に、環境に、優しく・・・
さらに美しさをお届けする

ルナファーマー

五感で味わう心地よい空間・・・

ルナファーマーは、環境保護先進国「ドイツ」で広く普及している塗装下地壁紙。通気性や透湿に優れ、結露やカビの発生を抑えます。紙のパターンと塗装色の組み合わせで、お部屋の演出は思いのまま。模様替えやメンテナンスもそのまま塗り重ねるだけでOK。(10回程度可能) 廃材もほとんど出ないので、環境に優しい材料です。



(輸入元)日本ルナファーマー(株)
東京都港区南青山2-9-3
青山JPビル 2階
TEL 03-5785-2750
(施工店)(有)ルナファーマー・テクノ
東京都港区高輪4-23-6
TEL 03-5792-5819

新協建設工業株式会社

平和であればこそ建築はよろこび

本社 台東区台東2-25-10
東東京支店 江戸川区篠崎町3-1-3
台東支店 (台東)台東区台東2-25-10
西東京支店 (多摩)日野市神明4-22-13
大阪支店 堺市寺地町東4-2-11
石川支店 金沢市法光寺町207-4
広島支店 広島市安佐南区相田6-1-7

TEL03-3836-2011 FAX03-3837-8450
TEL03-3678-7471 FAX03-3678-7472
TEL03-3836-2017 FAX03-3835-7380
TEL042-584-7508 FAX042-584-7581
TEL072-229-2873 FAX072-229-2874
TEL076-257-2535 FAX076-257-2570
TEL082-872-1727 FAX082-872-1728